

令和5年度

# 教育方針

～「丹波篠山の教育」説明原稿～

令和5年5月30日

丹波篠山市教育委員会

令和5年度の教育行政に取り組む所信を示し、議員の皆様をはじめ、市民の皆様のご理解とご支援を賜りたいと存じます。

本市の教育は、「第3期丹波篠山市教育振興基本計画」に定めています「5つの施策の基本方向」に基づき取り組んでいます。

基本的な考え方としては、変化の激しい予測の困難な時代に、主体的に人生を切り拓き、人生で出会う様々な問題に積極的に立ち向かい、よりよい解決を図って人生を生き抜いていく力の育成と、人生100年時代を心豊かに多様な人々と協働しながら、しあわせ多き人生を送る環境づくりや施策展開を図っていきます。

そのため、学校園教育においては、少人数によるきめ細かな指導とICT環境の整備による「個別最適な学び」、探究的な学習やふるさと教育等の体験的な学びを通じた多様な他者との「協働的な学び」を一体的に充実させる『令和の丹波篠山型学校教育』をさらに一層充実発展させます。さらに、丹波篠山市の子どもや家庭の「自然体験」や「地域活動体験」（祭り・子ども会行事等）への参加率は他地域に比べて高く、このことは子どもの自己肯定感や道徳観、正義感、社会性、学習意欲など、変化の激しい時代を生き抜く力を養うことにつながっています。子どもたちの生きる力を培い創造性を伸ばすのはもちろん、何よりも一人ひとりの課題や辛さに寄り添い、「誰一人も取り残さない教育」、子どもの身体と心の命を一番に守る教育を推し進めます。

また、学校園教育に加えて、社会教育、芸術・文化・スポーツ等あらゆる分野において、多面的な幸福が持続する「ウェルビーイング (Well-being)」を実現し、個人のウェルビーイングと社会のウェルビーイングが相互に循環し合い互いに高め合う「共生社会」をめざします。

具体的な令和5年度の教育施策については、配布しています「丹波篠山の教育」により説明いたします。

### 3 ページ

## 施策の基本方向1 子どもの根っこを育てる乳幼児教育の推進

### 1-1 “子育ていちばん”に向けて

「朝日とともに目覚め、四季を感じながら、夢中になって遊ぶ ささやまっ子」の育成をめざし、地域の中でも活動する保育を実施し、子どもたちの豊かな感性を磨き、健全な育成を図ります。

子育て家庭のニーズに応じた幼児期の教育・保育環境整備として、今田幼稚園・今田保育園を統合、令和6年4月の開園をめざし、（仮称）今田こども園を建設するとともに、保育園、幼稚園、預かり保育施設照明のLED化工事を実施します。また、かやのみ幼稚園及び城東保育園舎の老朽化やこども園整備の要望を踏まえた環境整備の検討を始めます。

また、待機児童対策として、にしき保育園敷地内に保育室1室を増築するとともに遠距離通所に係る補助を実施します。さらに、保育士人材等を確保するため、保育現場で働きたい人を対象に「保育・教育フェア」及び「園見学バスツアー」を実施するとともに、市内の保育施設に勤務する保育士資格等を有していない保育従事者に対し、資格取得に係る受講料等を助成します。

また、「第3期ささっ子 子育て いちばんプラン」の策定に向け、ニーズ把握のためのアンケート調査を実施します。

### 5 ページ 1-2 子どもの根っこを育てる環境づくり

「眠育、食育、あそび」を総合的に推進する「ふた葉プロジェクト」を展開し、家庭と連携した子育て環境の確立に継続して取り組みます。

また、コロナ禍等の社会情勢に伴う物価高騰により不足する経費については、園給食の質を維持しつつ、保護者負担を増やさず公費で負担するとともに、保育園、こども園の3～5歳児における5ヶ月分の給食費を一部無償化します。

## 7 ページ 1-3 乳幼児教育の充実

乳幼児期の子どもたちが、心豊かにたくましく生きる力を身につけるため、丹波篠山の自然を最大限に生かし、体幹や諸感覚を鍛える保育・教育に取り組めます。また、私立こども園とも連携しながら職員同士が学びあう風土をつくるなど、職員の資質向上に取り組めます。

## 9 ページ 1-4 子ども・子育て支援の体制づくり

地域社会が保護者に寄り添い、子ども及び親自身の成長に喜びや生きがいを感じる体制づくりを進めます。加えて、子育てにおける保護者の心理的負担を軽減するとともに、子育ての楽しさを実感できるように取り組めます。

そのために、幼稚園預かり保育の充実や子育てふれあいセンターの運営、ファミリーサポートセンターの運営支援など、地域全体で子育てを支えるまちづくりを推進するとともに、こうした市の子育て施策をまとめた冊子を作成、配布する等、子育ていちばんのPRに取り組めます。

## 13 ページ

### 施策の基本方向2 生きる力を培い創造性を伸ばす教育の推進

#### 2-1 確かな学力の確立

人工知能やビッグデータ等の先端技術が高度化し、劇的に変化する社会において、子どもたちが豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の作り手となることができるように、「個別最適な学び」や「協働的な学び」の一体的な充実を図ります。

そのために、「全国学力・学習状況調査」及び「丹波篠山市学力・生活習慣状況調査」を継続実施し、生活実態や学習状況等を適切に把握します。その結果も踏まえ、学力向上プロジェクト事業や主体的な学習習慣の育成、読書活動の充実、情報活用能力の育成等に取り組めます。

また、外国語指導助手（ALT）や小学校外国語活動指導補助員（JTE）との外

国語を用いたふれあいや対話、外国に関する様々な知識や経験をもつ地域人材をゲストティーチャーとして招いた授業を通して、外国語教育の充実や国際理解・多文化共生教育を推進します。

## **18ページ 2-2 豊かな心の育成**

道徳教育、人権教育、ふるさと教育等の充実を図ることにより、人間形成の基盤となる豊かな情操と道徳性を培い、子どもたちが主体的に判断し、適切に行動する力を育成します。

学校においては、道徳教育の充実とともに、全ての教育活動を人権教育の視点で捉え、中学校では、市内の全生徒が、人権課題に関する作文に取り組むなど、自分の大切さとともに他の人の大切さも認める態度や資質を育成します。また、帰国・外国人児童生徒に加え園児の母語支援・日本語指導を実施します。また、これまでの個人の「情報モラル教育」に加え、公共との位置づけで、よりよい社会を創る市民となることをめざす「デジタル・シティズンシップ教育」を進めます。また、体験活動や環境教育、あいさつの実践、ボランティア活動などを通じ、自然体験や社会体験の充実を図ります。

## **22ページ 2-3 健やかな体の育成**

生活環境が急激に変化する社会において、子どもたちが生涯を通じて活力をもって活動していくために、スポーツに親しみ、継続的に運動ができる資質・能力の育成を図るとともに、健康で安全な生活を送るための基礎を培い、心身の調和的発達を図ります。

そのために、児童生徒の体力・運動能力の把握や分析を行い、その向上に児童生徒が主体的に取り組めるよう、計画的・継続的に実践する取組を推進します。また、健全な体を保つため、学校における食育の推進、及び喫煙・飲酒・薬物乱用防止教育等の充実を図ります。

また、部活動においては、引き続き地域の指導者に協力を得ながら、「部活動推進員」、「部活動指導員」、「部活動支援員」を配置し、指導体制の

充実と教職員の負担軽減を図るとともに、休日の部活動の段階的な地域移行に向け、関係団体と連携し、地域の実情に応じた体制づくりを推進します。

## **24ページ 2-4 社会的自立に向けたキャリア形成の支援**

子どもたちが、将来、社会的・職業的に自立し、社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現するために、人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力を育成するキャリア教育を推進します。

また、子どもたち一人一人が生涯を見据えて、学ぶ意欲や目的を見出し、充実した人生を送るための基盤となる能力について、校種間のつながりを重視し、意図的・継続的に育成を図るため、小中連携心のサポート事業やスクールブリッジ事業を推進します。

## **26ページ 2-5 特別支援教育の充実**

共生社会の実現に向けて、すべての学校園や学級に発達障害を含めた障がいのある子どもたちが在籍することを前提に、一人一人の教育的ニーズを把握し、自立と社会参加を見据えたキャリア形成に向け、きめ細かく適切な教育的支援を行います。

特別支援教育のセンター的な役割を担う学校として位置づけている篠山養護学校と、各保育園・幼稚園・こども園・学校及び関係諸機関との連携を強化します。また、篠山養護学校内に設置した早期発達支援室では、教育支援委員会、発達障害児等支援連絡会議及び児童発達支援センター等と適切な連携を図りながら、発達障害及び知的障害のある幼児に対し、適切な早期支援を行い、個々の成長発達及び円滑な就学期への移行を促します。

また、一人一人に応じた教育支援を行うため、個別の教育支援計画（サポートファイル）を保護者とともに作成し、保幼小、小中、中高の学校園間で確実に引き継ぎ、情報を共有することで、一貫した指導・支援を行います。

さらに、令和5年2月からは指導医を委嘱するなど、篠山養護学校及び市

内学校園に在籍する医療的ケア対象幼児児童生徒が安全・安心に学校園での生活を送れるよう体制構築に努めており、子どもたちの将来の自立や社会参加のために必要な力が育めるよう取り組みます。

## 29ページ

### 施策の基本方向3 子どもの学びを支える環境づくりの推進

#### 3-1 安全安心で質の高い学習環境の整備

子どもたちが安心して学校生活を送るために、安全で質の高い学習環境の整備を進めます。

施設面においては、すべての学校園で毎年「学校園安全計画」を見直すとともに、「学校園安全管理マニュアル」等の活用や避難訓練の実施、定期的な施設の安全点検等を通じ、安全で安心な学校園づくりに取り組みます。

また、自然災害や交通事故、犯罪などから子どもたちを守るため、家庭・地域・関係機関と連携しながら安全教育を継続的・計画的に実施し、訓練を通して実践力を向上させます。

バス通園の安全対策として、国の「こどものバス送迎・安全徹底マニュアル」を参考に、登園児に乗車名簿とその日の出欠状況を照合すること等、定期的に園での取組状況を確認します。また、ヒューマンエラーを補完するために、スクールバスに置き去り防止を支援する安全装置を設置します。さらに、万が一車内に取り残された場合の危険性を子どもたちに伝えるとともに、緊急時には外部に助けを求めるための行動がとれるよう子どもの発達に応じた支援を行います。また、令和5年度には城東小学校区のスクールバス1台の更新と篠山養護学校スクールバス1台を追加します。

次に、市内小学校のプール老朽化にともない、新たに市施設の通年利用できる温水プールを活用したモデル事業を実施します。また、令和5年度は味間小学校の改修工事を行うとともに、幼稚園へ丹波篠山産木材を使用した椅子を導入し、今年度で全ての幼稚園で導入が完了します。

GIGA スクール構想における学びの充実に向け、児童生徒一人一台パソコン

の環境における ICT の効果的な活用を一層促進します。

### **33ページ** 3-2 地域とともにある学校づくり

子どもたちが地域の中で豊かな経験と多様な学びができるように、地域全体で家庭教育を支える仕組みづくりを支援し、学校や園・家庭・地域が連携・協働した社会総掛かりの教育を推進します。

そのため、学校や園、保護者、地域住民等が熟議（熟慮と討議）と協働を通して、学校や園、地域の課題を共有し、共通の目標・ビジョンを持って、子どもたちの豊かな成長を支える「地域とともにある学校園づくり」に取り組みます。その中で、令和5年度より、幼稚園、認定こども園にも、順次、学校運営協議会制度を導入します。また、開かれた学校園づくりに向け、引き続きオープンスクールを実施します。

さらに、地域住民の参画を得て、引き続き「放課後子ども教室」や「通学合宿」、「トライしよう DAY」に取り組み、豊かな人間性や社会性を育むとともに、地域の教育力の向上をめざします。

### **36ページ** 3-3 家庭の教育力の向上

家庭、学校、地域が一体となり、次世代を担う子どもたちの健全育成を共に考える機会や、子育てをする親が必要な知識を学び、ともに助け合い、仲間づくりができるよう、親子の絆プログラム「赤ちゃんがきた！」と「きょうだいが生まれた！」の開催など、安心して子育てができる環境づくりに向けた情報交換・仲間づくりの機会を提供します。

### **37ページ** 3-4 教職員の資質能力の向上

変化の激しい社会を生き抜いていく子どもたちを育成していくためには、教職員自身が時代や社会、環境の変化を的確につかみ、状況に応じて求められる資質能力を高めていく必要があります。様々な教育課題に適切に対応するため、キャリアステージに応じた体系的かつ効果的な研修計画を定めた研



修や人権・同和教育に係る研修の実施とともに、「教育研究所」では、教育関係職員の資質向上と子どもたちの資質・能力の育成の基盤とした教育活動が展開できるよう、調査・研究と研修を推進します。

あわせて、教職員が心身ともに健康を保ちながら、児童生徒一人一人と向き合える働きやすい職場づくりを進めるため、教職員の業務の効率化と業務負担の軽減を図り、勤務時間の適正化を進める他、令和5年度は校務支援システムを導入します。

こうした体制のもと、各学校・幼稚園・こども園で学校評価を実施し、全ての教職員が教育活動その他の学校園運営の成果や課題を共有した上で、PDCA サイクルにより継続的に改善に取り組みます。

また、いじめ問題については、学校、家庭、地域が一体となって、未然防止・早期発見・早期対応に取り組むとともに、「魅力あるよりよい学校づくり」を軸とした不登校の未然防止、居場所づくりの充実に努めます。あわせて、組織的な生徒指導体制の充実とともに、児童生徒の悩み、心の中の課題を受け止め、児童生徒や保護者、教職員等を支える相談体制の充実を図ります。

## **4 2 ページ 3-5 保幼小中高大の連携**

保育園、幼稚園、こども園から小学校、小学校から中学校、中学校から高等学校や大学などの上級学校への進学においては、学びと育ちの連続性を重視し、校種間の教職員等による情報交換を行うなど連携を強化し、発達段階に応じたキャリア形成を支援します。また、幼い頃から地元高校を身近に感じられるよう、市内学校園と市内高校との連携に取り組みます。

## **4 4 ページ**

施策の基本方向4 人生100年時代を豊かに生きる学びの推進

### **4-1 主体的に生きるための学びと場の充実**

「人生100年時代」を見据え、市民一人一人が生涯を通じて生きがい

持ち、様々な学びの機会を得ることや、社会の一員として必要な学びに取り組み、自らが暮らす地域の課題を協働して解決していくために、ライフステージに応じた学習機会の創出に努めます。

図書館では、「第2次丹波篠山市立図書館ビジョン」に基づき、あらゆる世代に応じた事業を推進します。令和5年度は、「第3次丹波篠山市子ども読書活動推進計画」の策定に取り組むとともに、市民ニーズを把握するためアンケート等を実施します。また、開館20周年を記念したイベントを開催します。施設においては、全館にLED照明を導入します。

また、引き続き市民センター図書コーナーと配本所運営の充実に取り組むとともに、学校園との連携を強化し、学校での読書活動や学校図書館の支援を行います。

さらに、さまざまな学びの機会を提供するため、「障がい者社会学級の運営支援」や「外国人住民の学習支援」、「高齢者大学の充実」、「視聴覚機器の活用支援」等を行います。

丹波篠山市史編さん事業においては、基本方針に基づき、専門委員会、神戸大学等と連携し、計画的な編さん作業を進めます。

## **50ページ 4-2 スポーツの推進**

スポーツを通じて楽しさや感動を分かち合い、一人一人が健康で、いきいきと暮らす社会の実現に向け、スポーツ団体と連携・協働したスポーツ環境の整備・充実に取り組みます。

市民にスポーツ活動の機会を提供するため、スポーツ協会、スポーツクラブ21及び各種スポーツ団体への支援を行います。

また、令和4年10月に就任した丹波篠山市スポーツ振興官の実績、経験を踏まえ野球・ソフトボールを中心とした各競技種目のスポーツ指導者を育成するとともに、市内の子どもたちだけでなく大人も元気になる取組を推進します。トップアスリートとのふれあいを通じて、子どもたちに夢と希望を与える「TAMBASASAYAMA ライジングスター育成事業」に取り組めます。

引き続き丹波篠山 ABC マラソンを通して健康で活力あるまちづくりを推進するとともに、丹波篠山総合スポーツセンター、西紀運動公園を活用し、市民の健康増進を図ります。

## 5 2 ページ 4-3 文化財と町並みの保存と活用

歴史文化を活かしたまちづくりをさらに推進するため、活性化の核となる国指定の文化財や伝統的建造物群保存地区等の保存と活用を進めながら、地域住民主体の取組を継続して推進します。

国認定の「文化財保存活用地域計画」に基づき、歴史資産を活かしたまちづくりを推進します。令和 5 年度は、令和 4 年度の調査に基づき、篠山小学校の国有形文化財登録の申請を行います。

また、史跡篠山城跡では「篠山城跡整備基本計画」に基づき、石垣の保存修理を実施します。史跡八上城跡では、登山道の維持管理及び整備を行い、地域と連携しながら保存活用計画の策定を進めます。

去る 5 月 22 日～24 日に「第 45 回全国伝統的建造物群保存地区協議会総会・研修会 丹波篠山市大会」を開催し、多くの方が本市を訪れるとともに、貴重な意見交換等の機会となりました。そこでの意見や提案も参考にしつつ、引き続き、重要伝統的建造物群保存地区である篠山地区と福住地区における町並みの保存と活用に取り組みます。

また、国指定重要文化財「春日神社能舞台」を保存し未来に受け継ぐため、修理工事を実施します。

## 5 4 ページ 4-4 文化・芸術の振興

篠山城大書院、歴史美術館、青山歴史村、武家屋敷安間家史料館の歴史文化施設 4 館や田園交響ホールの特徴を生かし、丹波篠山市の歴史文化・芸術を発信していきます。

丹波篠山市展では、市内外からの優れた作品を展示することで、市民の創作活動への意欲を高め、鑑賞機会の提供とし、芸術文化の振興を図ります。

田園交響ホールでは、文化芸術の鑑賞や発表の場とともに、市民みんなが「感動」できる拠点として、丹波篠山市民ミュージカルなど、市民のニーズに沿った魅力ある優れた公演を実施します。また、施設の整備として、令和5年度は音響設備出力機器の更新、キャッシュレス、電子チケット対応を進めます。

## 57ページ 4-5 自然遺産に学ぶ教育の充実

市内に点在する地域資源の一つである篠山層群を活用し、学校教育・社会教育の連携を積極的に行いながら、学習機会の提供・充実を図ります。

丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム構想に基づき、篠山層群及び脊椎動物化石の保護・活用を推進します。太古の生きもの館を体験学習の拠点とし、篠山層群及び脊椎動物に関する化石の展示や露頭の展示を行います。

また、篠山層群や化石を取り扱うことにより、丹波篠山の自然や理科への子どもたちの興味・関心を高めるため、化石発掘体験イベントや市内全小学校を対象とした篠山層群学習プログラムを実施します。

## 58ページ

### 施策の基本方向5 郷土を愛し誇りに思う人材育成の推進

#### 5-1 ふるさと丹波篠山を愛する心の育成

歴史的・文化的な共同体としての郷土を心から大切に思い、郷土の発展を願い、それに寄与する姿勢を身に付けるよう取り組みます。

学校教育では、地域との連携により、児童生徒が伝統、文化、自然、産業、食文化等を学ぶことや、ボランティア活動や地域の行事に参加することを通じて、ふるさとへの誇りと愛着心を育む「ふるさと教育」を推進します。

また、公民館事業では、伝統文化の魅力を紹介する「丹波ささやま市民文化講座」や点在する史跡等をめぐる「丹波ささやまおもしろゼミナール」、古文書に親しみながら歴史を学ぶ「古文書講座」、食文化を伝承・創造する人材を育成する郷土味学講座等を実施します。

## 61ページ 5-2 学校給食の充実と食育の推進

学校給食献立の充実を図り、子どもたちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけるため、生きた教材である学校給食を活用した食育推進を継続的に取り組みます。また、コロナ禍等の社会情勢に伴う物価高騰により、現行給食費では不足する経費については、保護者負担を増やさず公費で負担し、学校給食の質を維持して提供するとともに、7月及び2学期分の給食費を無償化し、子育て支援を図ります。

主食となる米飯には、丹波篠山産コシヒカリの中でも生き物や自然環境にやさしい栽培方法で作られた「農都のめぐみ米」を使用します。加えて、地元野菜の安定的な使用及び地元産食材の活用率向上を図るとともに、地元産の有機栽培野菜もできる限り取り入れます。また、引き続き丹波篠山らしい特色ある献立づくりの充実に取り組みます。

全国学校給食甲子園での献立部門2年連続入賞の日本一の給食献立を維持できるよう、関係機関、団体と協力して取り組むとともに、ホームページ等を通じて、丹波篠山市の学校給食の魅力を全国に発信するとともに、学校園等で地元食材の豊富さと栄養バランスを織り交ぜた食育授業を実施します。

また、職員の安全衛生意識の徹底を図るとともに、設備・機器等の日常点検、適宜メンテナンスの実施、定期的な食品検査等も行い、安全で安心な学校給食を実施します。

以上、教育委員会では「一人一人が光り輝き、生きがいをめざす」とともに「しあわせ多きふるさと丹波篠山を担う」教育に取り組んでまいります。